

小柴貯油施設跡地での工事事故について（報告）

温暖化対策・環境創造
・資源循環委員会
令和2年9月10日
環境創造局説明資料

令和2年8月25日(火)に、金沢区長浜の小柴貯油施設跡地（公園整備予定地）内において、下水道工事で発生した建設発生土を仮置きする作業中に、作業員1名（60代男性）とバックホウが既設の貯油タンク（直径約45m、深さ約30m）に落下する事故が発生しました。

タンク内には推定約10,000m³の水が溜まっていたため、ポンプによる排水を行いつつ、救助活動を進め、8月28日（金）に要救助者を発見し、タンク内から地上に救出しましたが、現場で死亡が確認されました。

1 事故内容

- (1) 発生日 令和2年8月25日（火）
- (2) 発生場所 小柴貯油施設跡地内（横浜市金沢区長浜172番地先）【資料1：案内図】
- (3) 工事件名 西部水再生センター水処理施設（第四期）築造工事
- (4) 発注者 横浜市環境創造局下水道施設部下水道施設整備課
- (5) 監督者 横浜市環境創造局下水道管路部下水道事務所
- (6) 施工者 飛島・奈良・センチュリー建設共同企業体
- (7) 経過

月日	時間	経過
8月25日(火)	16:00頃	建設発生土を運搬するダンプ運転手が現地にバックホウがないことを確認し、通報 【資料2:(写真)事故発生当初】【資料3:事故現場と仮置場の関係】 【資料4:(写真)仮置場(搬入前)】【資料5:バックホウ(類似機)】
	16:25頃	消防が救助活動として作業員の捜索を開始
	19:00頃	二次災害の危険性があるため、安全確保できるまで救助活動を中断
8月26日(水)	6:00-7:30頃	搬出入路の現地調査を開始・ポンプを設置し、タンク内の排水を行うことを決定 【資料6:作業状況図】
	10:30	ポンプ設置のための材料の搬出入路の整備を開始
	18:30	搬出入路の整備完了し、ポンプ設置を開始
	21:19	1台目ポンプ設置完了し、排水開始（以降ポンプを順次増設） 【資料7:(写真)ポンプ設置状況】
8月27日(木)	14:25	5台目ポンプ排水開始
8月28日(金)	4:55	タンク内の水位が下がり、鉄骨の固定、有毒ガスの検知など二次災害防止対策を完了したことから、消防が救助活動を再開
	10:45	さらに水位が下がり、バックホウの一部を確認
	11:29	潜水員が水面からの捜索活動を開始【資料8:(写真)捜索状況】
	17:37	要救助者を発見
	18:01	救出完了
	18:08	現場で死亡を確認

2 今後

警察、労働基準監督署等関係機関に協力していくとともに、事故原因を究明し、事故の再発防止に努めてまいります。

